

おい書館

No. 20

新しい図書館を 市長交渉

四月にリストラ市民会議の答申が出ましたが、その中に「美術館・音楽ホール等の建設には再検討が必要」とありました。「等」の中には果して図書館は含まれるのかとの危惧を感じ、五月十九日、松戸市役所に川井市長を訪ね、市長宛に次の様な要望書を持参しました。

この要望書に沿って懇談し、市長の考えを聞くことができました。次にその要旨をまとめました。

☆ 美術館・音楽ホール、及び図書館の建設について、市五、六、七、八、九、十年計画に盛り込まれながら実現できずにいるということ、再検討の必要があるということではないか。もう一度振り出しに戻して検討した方がよいのではないか。へ但し、五月時点ではまだ話し合いはしていないとのこと。

☆ リストラ市民会議の答申には「市民のニーズの把握が必要」とある。市民の本当のニーズがどこにあるのかを、もう一度調査する必要がある。

☆ 音楽ホール・美術館及び図書館の建設については、どれか一つは抜かなければ難しいのではないか。とはいえ、図書館は抜かないつもりでいる。

☆ 大蔵省関税分析所が柏に移転（予定）した跡地に、図書館

を中心とした生涯学習センターがとぎえるかのように言われているが、大蔵省財務からは松戸市と聖徳双方とうまくやってくれと言われている。来年頃には決断しなければならぬが、四十、五十億円の支出は財政的に難しい。

☆ 生涯学習センターについては、図書館が中心になるのではないか。それが最優先になるだろう。

☆ 図書館建設準備委員会のようなものは、まだ考えていない。

以上のような市長の考えを聞いた上で、更に私たちは、

☆ 建設準備委員会のようなもの



1995年5月19日

松戸市長 川井敏久 殿

おーい図書館 代表 青木和子

要 望 書

市長には、連日、市政発展のため、御努力いただき感謝いたします。

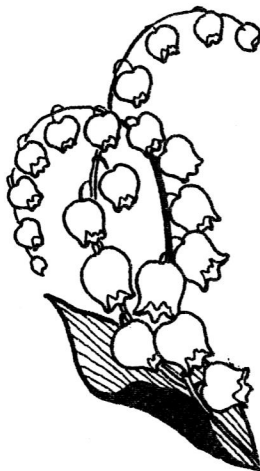
さて、4月12日、行政リストラ市民会議より出された提言の中に、音楽ホール・美術ホール等の再検討についての文言がありました。私達は、この数年間、松戸市立図書館建て直し計画に向けて、市長・市議会・教育長への要望書提出、他市長の図書館見学会・講演会・勉強会等を行なって参りました。このような活動・行なう中で、松戸市50万市民への、文化・情報の発信基地として、また、生涯学習の拠点としての新しい図書館の建設を熱望するに到りました。

以上により、図書館建設については、第5次5ヶ年計画の通り、実施されますよう、要望致します。

つきましては、用地獲得に、特段の御努力をお願い致します。

のを是非作ってほしい。
★ 土地取得の件で情勢が動き出した時には、松戸市は積極的に動いてほしい。

☆ いろいろな方法で市民のニーズを正しく調査してほしい。
と要望し、市役所を辞めました。
尚、当日の出席者は、市長、市職員二名・図書館長田口さん、館長補佐宮田さん、そして「おーい図書館」メンバー六名でした。
(青木和子)



発行 「おーい 図書館」
連絡先 青木 和子

松戸市検台八三〇、一六〇
☎七三(六七)五三八四